

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

林業課長 桑本幸夫

電話番号

0852-22-5167

事務事業の名称	水と緑の森づくり事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	荒廃森林を緑豊かな森へ再生させるとともに、緑豊かな森づくりへの県民参加を促進し、森林の様々な恵みを楽しんでもらう。	
事業概要	荒廃森林を緑豊かな森へ再生するため、水と緑の森づくり税を財源として不要木の伐採や広葉樹の植栽等に対し交付金を交付する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	整備面積累計	目標値	8,450.0	9,050.0	9,650.0	10,250.0	ha
	式・定義	再生の森事業により不要木伐採を実施した森林面積	取組目標値					
			実績値	7,850.2				
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	132,444	142,367
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

I期対策期間(H17~H21)、II期対策期間(H22~H26)ともに目標とする面積の整備が進んでおり、荒廃した森林の再生を行うことができた。
III期対策期間(H27~H31)の初年度である平成27年度は、653haの不要木伐採を実施しており、目標である600ha/年を超える整備を行うことができた。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

荒廃地の再生が進んでいる。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
該当なし。

②困っている状況が発生している「原因」
該当なし。

③原因を解消するための「課題」
該当なし。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き荒廃した森林を緑豊かな森林へ再生させる。

9. 追加評価 (任意記載)